全国高等学校ビブリオバトル 2025 岐阜県大会
開催要項

１．趣旨

「岐阜県子どもの読書活動推進計画（第五次）」（令和７年３月策定）に基づく子どもの読書活動を推進する事業の一環として、岐阜県の子どもの読書活動推進において中核を担う岐阜県図書館を会場に、高校生を対象としたビブリオバトル大会を実施します。

※ビブリオバトルとは…

各自が本を持ち寄って集まり、本の面白さについて５分程度でプレゼンテーションし合い、一番読みたくなった本を参加者の多数決で決定する書評会

【公式ルール】

1　発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2　順番に１人５分程度で本を紹介する。
3　それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを２～３分行う。
4　全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が１人１票で行い、最多票を集めたものをチャンプ本とする。

２．主催等

主催：岐阜県　後援：活字文化推進会議　読売新聞社　岐阜県教育委員会

３．大会コーディネーター

青木（あおき） 智宏（ともひろ） 氏（ビブリオバトル普及委員会普及委員、加納高等学校教諭）

４．日時

令和７年１１月１６日（日）１３時００分から（開場・受付は１２時３０分から）

５．会場

岐阜県図書館　（岐阜市宇佐４－２－１）

６．日程　※参加申込人数や進行状況により、時間が前後する場合があります。

12:30	13:00	13:30	14:20	14:40	15:25	16:15
受　付（多目的ホール前）	開　会（多目的ホール）	予　選（各会場）	休憩	決　勝　戦（多目的ホール）	結果発表 表彰式・閉会（多目的ホール）	（希望者）図書館見学

７．参加者（事前申込制・先着順・参加費無料）

（１）発表者（本を紹介する人・バトラー）　※定員２４名、各学校４名まで

岐阜県内の学校に通う高校生、特別支援学校（高等部）生、高専生（１～３学年）

（２）観戦者（本の紹介を聞く人）　※定員２６０名

中学校や高等学校の生徒、保護者、教職員、図書館関係者、その他ビブリオバトルや本に興味のある方。

※観戦者は予選および決勝でチャンプ本を決める投票に参加していただきますので、全ての発表を観戦できる方を原則とします。

※大会を最後まで観戦された方の中から、抽選で３名に図書カードを贈呈します。

８．表彰等

・優勝者、準優勝者（準チャンプ本発表者）、敢闘賞の方に賞状と副賞を贈呈します。

・優勝者は令和８年開催予定の全国大会に招待されます。全国大会出場にあたり、優勝者と引率教諭１名の旅費・宿泊費が活字文化推進会議より支給される予定です。

・発表者全員に参加賞として図書カードを贈呈します。

９．申込方法・募集期間

・LoGo フォーム、メール、電話にてお申し込みください（申込先は最終ページに記載）。

・部活動や委員会等、学校の活動としてご参加の場合は、学校単位で取りまとめてお申し込みください。

・参加費は無料ですが、会場までの交通費は自己負担です。

・参加にあたり、手話通訳、配慮席の提供、車いすの準備等、個別の配慮が必要な方はお知らせください。（全てのご要望に対応できない可能性もありますのでご了承ください）

・発表者、観戦者ともに７月３０日（水）から１０月３１日（金）まで受け付けます。先着順のため、定員になり次第、終了します。

（１）発表者は以下をお知らせください。

※メールの場合は件名を「ビブリオバトル岐阜県大会発表希望」としてください。

※個人でのお申し込みも可能ですが、手続きの都合上、申込終了後、大会に関する詳細や入賞の連絡等を発表者在籍校へ連絡します。

※紹介する本が決まっておらず、参加を希望する場合、本は後日のご連絡でも可能です。

①発表者名、ふりがな

②学校名、学年、学校の電話番号

③紹介する本のタイトル、出版社名、著者名（コミック、雑誌は除く）

④連絡先電話番号・メールアドレス

⑤図書館見学ツアーの参加の有無

発表者用申込フォーム

（２）観戦者は以下をお知らせください。

※メールの場合は件名を「ビブリオバトル岐阜県大会観戦希望」としてください。

①観戦者名、ふりがな

②（児童生徒、学校・図書館関係者の場合）学校（図書館）名、学年

③メールアドレスまたは電話番号

観戦者用申込フォーム

10．個人情報の取扱いについて

・発表者の氏名・学校名・学年・紹介図書は、大会当日の配布資料に掲載するほか、県の報道発表資料として公開します。

・大会主催者及び後援者、報道機関等が、記録・報道・広報等のため、岐阜県大会の様子を撮影・録画し、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ホームページなどのメディアで利用する場合があります。

・以上については、大会への参加をもって同意していただいたものとみなしますので、あらかじめご了承ください。

11．その他

・予選の組み合わせは、事前に事務局で調整させていただきます。

・発表の際の発表原稿やレジュメ等の使用は不可とします。

・講習会については講習会の開催要項をご覧ください。

・開催の中止や内容の変更をする場合がありますので、最新情報を岐阜県公式ウェブサイト内「全国高等学校ビブリオバトル岐阜県大会のご案内」でご確認ください。
（https://www.pref.gifu.lg.jp/page/16154.html）

会場案内

【岐阜県図書館】　（岐阜市宇佐４－２－１）

（電車）ＪＲ西岐阜駅より徒歩１４分

ＪＲ西岐阜駅より「西ぎふ・くるくるバス」『県図書館・美術館』バス停下車すぐ

（バス）名鉄岐阜駅・ＪＲ岐阜駅より岐阜バス「鏡島市橋線」「市橋」行に乗車、
『県美術館』バス停下車徒歩３分

※駐車場が限られますので、できるだけ公共交通機関を使ってお越しください。

大会のお申し込み・お問い合わせ先

岐阜県　観光文化スポーツ部　文化伝承課　教育文化係

電　話　058－272－8756

メール　c11148@pref.gifu.lg.jp

（岐阜市薮田南２－１－１　岐阜県庁９階）

参考

●前回大会（令和６年１１月１０日開催）で紹介された本

本のタイトル	著者名	出版社名
夜明けのすべて	瀬尾まいこ	水鈴社
ハツカネズミと人間【準チャンプ本】	ジョン・スタインベック	講談社
久遠の檻　天久鷹央の事件カルテ	知念実希人	新潮社
レーエンデ国物語	多崎礼	講談社
朽ちないサクラ　公式シナリオブック	我人祥太・山田能龍脚本 柚月裕子原作	徳間書店
蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎
ザ・ロイヤルファミリー	早見和真	新潮社
あなたの言葉を	辻村深月	毎日新聞出版
わたしの幸せな結婚	顎木あくみ	KADOKAWA
リスペクト	ブレイディみかこ	筑摩書房
あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。	汐見夏衛	スターツ出版
同志少女よ、敵を撃て	逢坂冬馬	早川書房
そんなとき隣に詩がいます	谷川俊太郎・鴻上尚史	大和書房
目の見えない白鳥さんとアートを見にいく	川内有緒	集英社インターナショナル
光が死んだ夏	モクモクれん原作・イラスト、額賀澪著	KADOKAWA
人類やりなおし装置【3 位】	岡田淳	17 出版
赤泥棒	献鹿狸太朗	講談社
あの夏が飽和する	カンザキイオリ	河出書房新社
夏と花火と私の死体【チャンプ本】	乙一	集英社
モモ	ミヒャエル・エンデ	岩波書店
ビブリア古書堂の事件手帖	三上延	アスキー・メディアワークス

●　参加者数の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	参加者数（延べ人数）
発表者数	11	15	18	15	18	10	14	24	21	146
観覧者数	39	20	25	30	26	26	22	42	52	282
合計	50	35	43	45	44	36	36	66	73	428

・前回大会の発表者内訳：16 校、1 年生：10 名、2 年生：11 名

●前回大会の参加者アンケートより

１．発表者

Ｑ１．参加のきっかけは

・去年も参加したからです。楽しかったからです。

・自分の好きな本をみんなにも知って欲しかった。

・本が好きだから。他の本が好きな高校生の話を聞いてみたいと思ったから。

Ｑ２．大会に参加してみてよかったこと

・おもしろい本が沢山知れてよかった。本好きな人と友達になれて嬉しかった。

・予想外の方向への本がたくさんあり興味深い。

・自分の好きな本をみんなに伝える、という貴重な機会に参加できてよかった。

・本という媒介によって、人と話すのがとても面白かった。本好きは空気感が似ていて、リラックスできたし、楽しかった。発表も素晴らしかった。来年もきます。

・「人を通して本を知る、本を通して人を知る」のコピーのまま、本当にたくさんの人と関わり、その人の愛がこもったスピーチを聞くことができて、幸せな時間でした。

・昨年の大会に参加したときにできた友達と再会することができた。色々なジャンルの本と出会えて、新しい友達もできたし、新しく読みたいなと思える本ができた。

２．観戦者

Ｑ１．ビブリオバトルについてどう思ったか

・発表者をやってみたい　16.1%

・通っている学校や勤務地でやってみたい　32.3%

・機会があればまた観戦したい　51.6%

・おもしろいと思わなかった　0%

Ｑ２．大会に参加してみてよかったこと

・自分とは違う年代の方たちの選・視点を楽しむことができました。特に決勝は甲乙付け難く、どの本もぜひ手に取ってみたいと思いました。決勝で、バトラーとしてのひきつけ方が予選より分かった気がします。

・熱量がすごかったです。読みたくなる本がたくさんありました。

・本の内容だけでなく、それを紹介している人物のことにも興味を持ったり、魅力を感じたりすることができました。勝敗は決まるのですが、バトル後に互いへのリスペクトの気持ちがわいて、もっと話を聞きたい、話をしたいと思えるのがこの大会の大きな魅力だと感じました。

・気になっていたけど読もうか迷っていた…そんな本のおすすめポイントを知れてとても読みたくなりました。余り読まないタイプの本などもとても面白かったです。

・読みたいと思える本がたくさんあり、わくわくしました。つい目の前の忙しさに負けますが、時間を見つけて読みたいです。